

# 市有地B街区活用に関する基本方針（案）

稲 沢 市



## 序

### ①目的

市有地 B 街区は、尾張西部都市拠点地区土地区画整理事業において人が集い、ふれあい、賑わいのあるまちを創出するため、地域交流センター用地及び多目的広場用地として平成 15 年度に購入した土地です。それ以降、多目的広場につきましては、駅から北への景観や人などの動線に配慮し、整備を進めました。地域交流センター用地につきましては、議論を重ねてまいりましたが、施設の本建設には至っておりません。そのため、現在は一帯を芝生広場として暫定整備しております。しかし、この用地は JR 稲沢駅前位置し、名古屋駅まで約 10 分という、稲沢市にとって非常に高いポテンシャルを持った貴重な財産です。このため、平成 28 年 3 月に策定した「稲沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、公共公益業務用地にこだわることなく、業務用用地としての活用を図るなど、需要を見極めた上で活用方法を検討していくこととしました。

### ②基本方針（案）とりまとめの流れ

まず、「地域条件の整理」、「施設整備状況」及び「上位・関連計画」等の現状を把握しつつ、JR 稲沢駅と競合すると考えられる「名古屋市内主要駅周辺の施設立地の状況」や、わが国を取り巻く少子・高齢化社会、大規模災害への備え等の「時代潮流」などの観点から検討を加えることで、「導入機能の基本的考え方（コンセプト）」を整理しました。

その後、B 街区への進出の需要を見極めるために、様々な業種・業態の事業者等へのヒアリングを経て、コンセプトに掲げる「地域交流・市民交流の拠点」を形成するために必要な機能を検討し、基本方針（案）をとりまとめました。



## 目次

I. 現状の整理	1
I-1. 地域条件の整理	1
1. 当該地区の法規制等	1
2. 公益的施設の分布状況の把握	2
I-2. 施設整備状況	6
1. まちづくり方針	6
2. 尾張西部都市拠点地区土地区画整理事業の状況	6
3. 区域内及び周辺の整備状況	6
I-3. 名古屋市内主要駅周辺の状況	8
1. 施設の立地状況	8
2. 考察	10
I-4. 上位・関連計画を踏まえた展望	11
1. 稲沢市の上位計画からみた当該地区の位置付け	11
I-5. 時代潮流の変化からみた都市づくりの方向性	13
I-6. 市有地B街区利用実態調査結果	15
1. 調査概要	15
2. 考察	16
II. 導入機能の基本的考え方（コンセプト）	17
II-1. 導入にあたっての課題整理	17
II-2. 導入機能の基本的考え方（コンセプト）	17
III. 需要調査	19
III-1. 事業者等ヒアリングの結果	19
IV. 導入機能の検討	21
V. 基本方針（案）	23
別紙1 導入機能イメージ	25
別紙2 配置イメージ	26

